



インスピレーションになるう

ガバナー一月信

2018年7月号 Vol.1

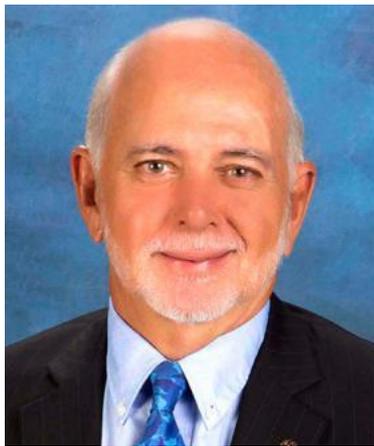
2018-2019 年度ガバナー 川瀬康裕



Contents



RI 会長からのメッセージ	1	三条南 RC50 周年	23
ガバナーメッセージ	3	ガバナー公式訪問日程	24
直前ガバナーあいさつ	4	新入会員・会員数及び出席報告	25
地区幹事・財務委員あいさつ	5	コーティネーターニュース	28
委員長あいさつ	7	ハイライトよねやま	29
ロータリー賞・会長特別賞について	21	文庫通信	31



インスピレーションになろう

2018-19 年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

113 年前の創設以来、ロータリーの役割は、世界において、また会員の人生において、絶えず進化してきました。ロータリーはその初期、会員が親睦と友情を見つけ、地域社会で人びととのつながりを築く方法を提供していました。その後ほどなくして、ロータリーに奉仕が芽生え、組織の成長とともにその影響も膨らんでいきました。間もなく、ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は世界中の家族や地域社会の人びとの生活を変えていくようになりました。活動の成果を高めるために、他団体とのパートナーシップや奉仕の重点分野を生み出しました。各国政府、国際団体、無数の地元や地域の保健当局と協力して、世界最大の官民協同による保健の取り組み、ポリオ撲滅にも乗り出しました。ますます多くの会員が、友情だけでなく、人助けのために行動する方法を求めてロータリーにやってくるようになりました。

ロータリーは今も、そしてこれからもずっと、ポール・ハリスが思い描いた団体であり続けます。それは、この地球上のあらゆる国の人たちが手を取り合い、自分を越えた素晴らしいことを生み出せる場所です。その一方で、今日のロータリーは、類まれな不朽の価値を提供してくれます。それは、才能、そして世界を変えようという熱意をもつ人たちの世界的なネットワークの一員となれるチャンスです。私たちは、地域社会で行動する力が世界的な影響を生み出し、力を合わせればたいのいことを実現できる能力とリソースを兼ね備えています。

全世界で、ロータリーはかつてないほど重要な存在となっており、より良い世界を築くその潜在能力は莫大です。残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を十分に享受していません。

ロータリーの奉仕は、人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現するために、私たちは、ロータリーでの自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割を、これまでとは違う角度でとらえる必要があります。公共イメージにもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があります。より持続可能な影響をもたらす大きなプロジェクトに力を注ぎ、ロータリー年度や任期を超えた活動の研究と計画に時間を費やす必要があります。一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日

直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。

ポール・ハリスが述べたように「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとって、ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。

"BE THE INSPIRATION"

----- バリー・ラシン RI 会長 略歴 -----
East Nassau ロータリークラブ所属 (バハマ (ニュープロビデンス島))

フロリダ大学で保健・病院運営の MBA を取得し、医療教育機関である American College of Healthcare Executives でバハマ初の特別研究員となりました。院長として 37 年間務めた医療機関 Doctors Hospital Health System を最近退職し、現在は顧問を務めています。全米病院協会の生涯会員で、Quality Council of the Bahamas、Health Education Council、Employer's Confederation など複数の団体の理事・委員長も務めました。

1980 年にロータリー入会。RI 理事を経て、現在はロータリー財団管理委員会の副管理委員長を務めています。また、RI 研修リーダーと K.R. ラビンドラン 2015-16 年度 RI 会長のエイドも経験しました。

ロータリー最高の賞である RI 超我の奉仕賞のほか、2010 年ハイチ地震後のロータリーによる災害救援活動を統率したことにより多くの人道賞を受賞しています。また、エスター夫人とともに、ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員でもあります。





「自らのロータリーストーリーを作りましょう」

国際ロータリー第 2560 地区
2018-2019 年度ガバナー
川瀬 康裕 (三条 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2018-19 年度ガバナーを拝命し、
今月よりガバナー年度スタートにつき就任の挨拶を申し上げます。

2016 年 7 月のこと、所属する三条ロータリークラブ会長年度
スタート間際、ガバナーノミニの推薦依頼を受け人選に苦勞し、
最終的にクラブのガバナー選考委員会で一致して推薦されました。
自分がやる気持ちはありませんでしたが、クラブでも幹事として協力していただいた関
川さんの、協力するとの言葉で受けました。現役会長の当時はその資格が無いことで、推薦
されるも保留となり安堵しておりましたが、中條パストガバナー、石本パストガバナーそし
て田中ガバナーの強い指導力により RI 会長から直々に「資格要件免除」と言う一報を受け
同年、10 月 21 日に正式決定を拝受する事になりました。また、同時に鈴木パストガバ
ナーを委員長とした地区運営検討委員会が設立され、新保ガバナー年度三役の全面的な協力体
制により地区事務所固定を推進し、当年度よりいよいよ運用することになりました。地区事
務所では、地区委員会の運営を中心に地区運営ノウハウの蓄積とデータ管理を行い、ガバ
ナー事務所事務作業軽減と地区運営円滑化に繋げ、本地区がより発展する事に寄与する取り
組みです。地区会員皆様のご理解とご協力を賜りながら進めて参ります。

さて、バリー・ラシン国際ロータリー会長は 2018-19 年度テーマを「インスピレーション
になろう」と提唱されました。113 年前の創立以来、ロータリーの役割は、世界において、
また会員の人生において、絶えず進化して来ました。初期には、会員が親睦と友情を見つ
け、地域社会で人々をつながり築き、奉仕が芽生え、現在は世界的な良い影響を生み出し
ております。ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションであり可能
性を指し示し、意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための
道を拓いてくれるのです。

その提言を受け、「自らのロータリーストーリーを作りましょう」をモットーに地区運営
方針を提案しました。特に、人道的奉仕を重点に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕かくステ
ージからの共通する奉仕ニーズを抽出し奉仕プロジェクトとして活発な奉仕活動を推進す
ることが、公にイメージ向上になり、引いては会員増強に繋がると考えております。2016
年の規定審議会での決議以降、ロータリーのあり方も大きく変化しております。伝統を守
りつつも国際的な潮流に目を向け、新たなインスピレーションを生み出しましょう。

皆様と共に、この激流を乗り切りより良いロータリー活動を実践し、地区の発展に取り組
みましょう。最後に、地区の発展と皆様のご健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

【略歴】

三条ロータリークラブ所属

生年月日 1948 年 1 月 24 日

■ロータリー歴

1998 年 入会 2016-2017 年 クラブ会長 米山委員長、社会奉仕委員長、クラブ奉仕 A,B
委員長 ロータリー財団寄付メジャードナー ポールハリスソサエティー会員 米山功勞
者マルチプル

■現職

医療法人社団川瀬神経内科クリニック理事長

新潟県認知症疾患医療センター連携型 センター長 日本認知症予防学会 常任理事



一年を振り返って 活動報告と所感

国際ロータリー第 2560 地区
2017-2018 年度 ガバナー
新保 清久 (新潟万代 RC)

ガバナーとして一年間活動できましたことは、地区幹事、財務委員等ガバナー事務所スタッフ、地区役員、並びに出身クラブの新潟万代 RC と地区内 5 6 のクラブの皆様のご協力のたまものと心より御礼申し上げます。1 年間を振り返り、簡単に活動報告と所感を申し上げます。

4 大大会

PETS、地区研修協議会、地区大会は、すべて滞りなく開催することができました。親善ゴルフ大会は、元女子プロの古賀美保さんを迎え、紫雲 GC で実施。340 名の参加。各実行委員会等関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問

各クラブが長年にわたり取り組んでいる活動の数々を発表していただき、あらためてロータリーの存在意義を実感しました。また歓迎懇親会では、大いに親睦をはかることができました。

周年行事

周年行事 60 周年 直江津 RC 新潟東 RC 50 周年 三条南 RC 40 周年 新津中央 RC
25 周年 新潟中央 RC 新潟万代 RC
各クラブとも心のこもった素晴らしい周年行事に参加させていただきました。

出席した全国会議

2017 年 7 月 1 日 (2 日間) 元次期 G 懇談会 ロータリーの友合同会議
2017 年 11 月 (5 日間) ロータリー研究会 (都内) 全国青少年交換委員長会議
米山奨学事業 50 周年記念 (都内) 全国インターアクト研究会 (宇都宮)
インターアクト、ローターアクト RYLA などの青少年奉仕活動に献身的に取り組んでいる地区を知り、自身の不明を恥じるとともに感銘を受けました。

地区の委員会活動

インターアクト年次大会 (胎内) RYLA (胎内) ローターアクト地区大会、地区協議会
青少年交換委員会、米山奨学委員会、ロータリー財団委員会の各種セミナー
会員増強委員会 (7 月会員増強セミナー、3 月新会員研修セミナー)
地域共同ネットワーク主催 防災セミナー (長岡)
国際奉仕フォーラム (H オークラ)・・・国際奉仕、青少年交換学生報告会
植樹事業 (上越、十日町、荒川、青山海岸) 障害者の就職問題のセミナー
地区検討改善委員会の招集
地区並びにクラブの各奉仕委員会の真摯な活動に対して、敬服いたしました。

他地区 地区大会

近隣の地区を中心に 1 2 地区の地区大会に参加して参りました。RI 会長晩餐会や、本会議終了後の懇親会では、簡素な地区、盛大な地区があることを知りました。

主要地区目標

IT 化の推進については、目標に遠く及ばない高い目標を掲げてしまったと反省しています。結びになりますが、地区運営にご協力いただきました関係各位へ感謝申し上げますとともに皆様のご発展、ご健勝を祈念して御礼申し上げます。
1 年間にわたり本当に有難うございました。



川瀬ガバナー年度スタート

国際ロータリー第 2560 地区
地区幹事
関川 博(三条RC)

2016年6月18日、初夏の暑い日でした。間もなく田中年度がスタートする間際での地区リーダーシップ研修会に次年度クラブ幹事として出席した私。鈴木パストガバナーにより「ガバナー輩出困難の原因追求と対策案を検討するため地区運営改善検討委員会を設立する」との発表があり、ガバナー輩出のご苦労など、対岸の火事。ガバナー輩出するとはなんと難儀なのだろうか、研修会の帰り道に、2017-18年度三条ロータリークラブ会長の川瀬康裕会長エレクトと話したことが、昨日のようです。その月末、29日のこと。突然、三条ロータリークラブからガバナーを輩出して欲しいとのオファー。混乱する中、冷静な先輩方。「30年前、藤田説量ガバナーを輩出したクラブ。ここで、受けなければ三条の名折れだ」と、渋谷先輩の一言で、時の会長であった川瀬会長に全員一致の推薦。現役会長は資格が本来ないのですが、RI会長から資格免除を認定され、ドラマティックな川瀬ガバナーノミニの誕生でした。

昨年7月に川瀬ガバナーエレクト就任直後から、ガバナー組織の構築、ガバナースタッフ会議、ガバナー事務所開所式、ガバナー補佐会議、地区運営会議、帰国報告会、PETS、地区研修・協議会と、この10ヶ月は過ぎれば、あっという間でした。紆余曲折しながらの道のりでしたが、多くの皆様からご支援ご指導を賜りました。ありがとうございます。特に新保年度の丹治地区幹事には地区のイロハや心構えなど一からご教示いただき心より感謝申し上げます。私も、次年度の本山地区幹事へ襷をつなげます。

さて、川瀬ガバナーは、国際研修会にてバリー・ラシンRI会長の「一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私達が今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性を持って正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すためのインスピレーション」この一文を帰国後、力説されたことが印象的でした。川瀬ガバナーも「今日、我々は地球規模の課題が地域に影響を及ぼす中で生きています。勇気を持ってやりたいと思う「みんなのためになること」を実現しよう」と提唱されております。感動的なメッセージです。

どうか、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。



財務委員あいさつ

国際ロータリー第 2560 地区
財務委員長
金子 俊郎(三条RC)

財務委員を拝命し、何も分からない者が此処までこれたのは前年度財務委員の伊藤氏のお陰と感謝している。私のロータリーの経歴は22年だが会長経験や地区の経験もなくクラブの委員長くらいで、役を避けてきた私が地区の財務委員を引き受けたことに回りはびっくりしている。最後のご奉公と思ひ引き受けた次第である。

財務委員のまず一番の仕事は、予算編成である。地区のお金は、ガバナーエレクト年度とガバナー年度の二年間管理する必要がある、この二年間をもって決算する事となっている。例年、予算は前年度を踏襲して組み立ててきた。しかし、川瀬年度は、この7月1日より地区事務所が開設されたこともあり、ガバナー事務所の経費と合わせて予算を組む必要があり、例年通りの予算が組めないなかで、前年度財務委員伊藤氏の全面的な協力で、何とか予算を組む事が出来た次第である。

これからは、予算の執行に関しての管理が中心となる。支出の是非、今までの慣行等、何も知らない者として不安はあるが、地区事務所が開設し、地区業務を熟知している事務局員が対処してくれる事となっており、大変心強い。

地区の活動費は、メンバーの分担金で成り立っている。地区のお金の使いみちにはもっと関心をもって頂ければありがたい。

地区財務委員の最も重要な役割は、地区のロータリー活動に有意義にムダ無く使われるよう管理してことであると認識している。この一年間、私なりに努力してやっていきたい。



川瀬ガバナー年度スタートにあたり

クラブ奉仕委員会

委員長 馬場 伸行 (新潟西RC)

2017-18 新保ガバナー年度を皮切りに様変わりしたクラブ奉仕委員会ですが、2018-19 川瀬ガバナー年度でも引き続き国際ロータリー戦略計画3つの優先項目に基づき「クラブのサポートと強化」「公共イメージと認知度の向上」に取り組みます。この継続した取り組みは、バリー・ラシン RI 会長の「ロータリーが世界中で与えている影響を把握できるように、(RI) ホームページ上の My ROTARY とロータリーショーケースにすべてのクラブが最新情報を掲載するようにし、ロータリーという団体について、また世界の津々浦々でロータリーが行っている素晴らしい活動について世界がきちんと理解できるように、ロータリーの実績をPRしたい」というビジョンに由来しております。

地区運営方針に則って川瀬ガバナー・各分区ガバナー補佐方々と協力しながら、クラブのリーダーにサポートと指針を提供し、クラブの強化を支援出来るよう活動しますので、地区会員皆様からのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

主な活動

クラブ戦略計画推進委員会・・・クラブ戦略計画とクラブセントラルの立案を奨励し、その入り口である My ROTARY の普及促進卓話実施。

広報・公共イメージ向上委員会・・・各クラブ独自の活動について様々な方法を用いて広報するよう奨励し、ロータリーのイメージとブランド認知の調和に努める。

国際ロータリー戦略計画：3つの優先項目と中核的価値観





全ての入り口がMy ROTARYです

クラブ戦略計画推進委員会
委員長 大澤 力(新潟西RC)

My ROTARY、クラブ戦略計画、ロータリークラブ・セントラル、この3つの言葉が当委員会の責務内容を表す言葉となります。

My ROTARYとは、ロータリーに関わる有用な情報や知識、便利なツールを入手することが出来るロータリーのオンラインシステムの事です。

クラブ戦略計画とは、クラブの中長期経営計画のようなもので、3～5年の継続された一貫性のある実現可能な範囲のクラブ運営計画を立案し、またベースにしながら、クラブ運営をする事が求められます。

そして、ロータリークラブ・セントラルは国際ロータリーへの報告や登録など、クラブ運営にとって必要不可欠なこれもオンラインシステムの事です。このロータリークラブ・セントラルがクラブ戦略計画のインスピレーションになります。

当委員会で出来ることは資料の提供や、My ROTARYアカウント登録トラブルの対処や、クラブ会員皆さんへの卓話等で、実際にMy ROTARYやクラブ戦略計画を実行していくのは各クラブリーダーの皆さんです。どうぞ以上の点をご理解頂き、川瀬ガバナーの地区運営方針が実現できますようご協力のほどお願い申し上げます。



ロータリーの公報、公共イメージ向上について

広報・公共イメージ向上委員会
委員長 安藤 幸夫(新潟東RC)

先月、5月26日地区の社会奉仕委員会主催の海岸植樹祭が青山海岸にて行われ、BSNさんはじめ複数社のメディアが取材してくださいました。

地域に根差したロータリーの地道な活動を広く一般の市民の皆様にご存知いただく良い機会になったとおもいました。

今後とも、各ロータリークラブが企画した奉仕活動をあらゆる方法を使ってひとりでも多くの方々にロータリーを理解していただけるよう努めてまいります。

一方、会員の高齢化、減少の対策として職業奉仕をもっと前面に押し出し企業の若手役員候補がどんどん入会してくれるようなロータリーの良さ、強みもアピールして行きたいと思っております。

1923年、今から約100年前から議論された23-34決議にロータリーの本質を訪ねることも必要なのかもしれませんが。

ロータリーを公報する、そして公共イメージを向上させることは同時にロータリーの何を知って欲しいのかを見つめ直す機会であると思っております。

皆様、いかがお考えですか？



会員増強でクラブに活力を！

会員増強委員会

委員長 田中 雅史 (新潟南RC)

世界をグローバルに見ると、200以上の国と地域に122万余人のロータリアンが3.5万を超える何れかのクラブに属しています。また、世界は545の地区に区分されそれぞれ国際ロータリーRIの役員としてガバナーがいます。更にこれを34のゾーンに集約して、2ゾーンに1人の割合でRI理事が17人選出されています。

日本には、第1、第2、第3の3つのゾーンが割り振られており、私たちの2560地区は第1ゾーンに所属しています。RIでは、1ゾーン当たりの会員数の目安を3.5万人としていますので、日本が現状の3つのゾーンを維持する為には10.5万人の会員数が必要となります。ところがわが国の直近の会員数は9万人弱であり、このままでは来年開催される次の規定審議会で3ゾーンから2.5ゾーンに減らされる可能性が大です。

このように大局から見ると、RIの組織において日本のロータリーは重大な局面に立たされていることとなります。わが国のロータリアンの声を出来るだけ多くRIに届ける為にも、会員数の維持増強は喫緊の課題と言えます。会員増強はすべてのクラブにとって、就中ロータリー活動そのものにとり永遠のテーマでしょう。しかし、それは単に1クラブの問題ではなく、地域のそしてわが国のロータリアン全体の問題となっているのです。

川瀬ガバナーは、地区目標の優先項目1を「クラブのサポートと強化」と提示すると共に、会員増強の具体的な数値目標を前年度比で5%（105名）純増と掲げられました。この目標はここ数年の増強実績を鑑みた時に高いハードルかもしれませんが、しかし着眼大局着手小局の志で目標に向かって進む中で、結果としてクラブの活性化と基盤強化に結び付くことと確信しております。

以上、当委員会として全力で取り組んで参りますので、一年間ご協力のほど宜しくお願い致します。

○会員増強セミナーについて

第1回 2018年7月28日(土)

第2回 2019年3月16日(土)

両日とも13:30～17:30 ホテルオークラ新潟にて開催致します。



認知症支援の輪をひろげましょう

奉仕プロジェクト委員会
委員長 菊池 渉(三条RC)

奉仕プロジェクト委員会委員長をお引き受けいたしました三条クラブの菊池です。寺の住職です。酒とお肉が大好きなナマグサです。ご承知のごとく、本年度より3つの委員会が「奉仕プロジェクト」の名のもとに共通の奉仕テーマ「(仮) 認知症支援の輪をひろげましょう」を掲げて協力して取り組んでまいります。

昨年6月の初め、川瀬ノミニー(当時)が私の寺にお出でになりまして、新しい組織を作る、3つの奉仕委員会をまとめて何か大きな奉仕活動がしたい、その委員長を引き受けろと、おっしゃるのです。

何を差し置いても4大奉仕(5大奉仕)と習ってきました頭の古いロータリアンの私にとりまして、全く理解できないことでしたが、ご無理を承知で三条クラブあげてご推薦したノミニーが、こうまでおっしゃるのだから無下にお断りするわけにもいかず、

「2~3日ご猶予を」

「明日から国際大会でアトランタへ行く。あなたに『ウン』と言ってもらえなければ、楽々アトランタへも行けない」

「……」

「全て任せるから」

「……」

ここでお断りするようでは男でないと、仏の声が聞こえ

「分かりました。安心してアトランタへお出かけください」

「土産買って来るよ」

「いえいえ、もったいない」

と男気を出してしまいました。土産くらいおねだりしてもよかったのかと、今更思っていますが、残念なことでした。

これが事の始まり。それから半年間、私なりにプランを立て、構想を練り上げていました。ところが昨年末、今度はエレクトになられた川瀬さんに、私と3委員長が呼び出されまして、

「ぼくは医師です」

「承知しています」

「神経内科医です」

「よく存じ上げています。母がお世話になっています」

「ぼくのライフワークは『認知症』です」

「……はい、そうですか」

「奉仕プロジェクトで認知症患者、家族を支援する活動をしてほしい」

「……はい、そうですか」

半年間温めてきた構想は口に出すこともないまま、私の胸の奥に引っ込めてしまいました。お引き受けした以上は、そのご期待に応えるべくいろいろ準備して新年度に入りました。この後も、第2、第3の矢を放っていく所存です。よろしく願いいたします。

合掌





職業奉仕委員会活動方針

職業奉仕委員会

委員長 五十嵐 昭一(三条RC)

本年度は、奉仕プロジェクト委員会の活動の中に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の3部門の活動が入り、小委員会的存在になる方向です。従って3部門が別々に独自でやる今迄のやり方ではなく、奉仕プロジェクト委員会としての大きな活動の中の一貫になると思います。

職業奉仕委員会は、今までの活動で行ってきた「4つのテスト」に基づき、自らの職業を通じて社会の役に立つという観点で「会員を通じて互いの職業の理解を図り、その価値を正しく社会に伝えていく」ことがポイントになっている訳だと思います。職業奉仕委員会の活動を過去に遡って調べると、主力は職場例会と企業訪問の実施が中心になっており、本年度奉仕プロジェクト活動の柱になる「認知症プログラム」の「認知症はこうしたら治せる」を主題とした奉仕プロジェクト委員会の活動の輪をひろげるため、更に拡大する事が必要で、短いスパンではなく、ある程度長い活動として継続して今後続けていく必要があります。

現在の認知症対応に専門家である医師、医療関係者が中心になって事前なる対応がもっと適切に行うことが必要になり、一般人・家庭・社会の多くの人々のバックアップがますます必要になって来ると思います。

これから更なる未来の社会の発展に人々の援助が必要であり、健康寿命の延長、要介護状態に至らない期間の減少に多くの人々の関わりが必要となり、豊かな未来の構築にも必要となります。



社会奉仕委員会活動方針

社会奉仕委員会

委員長 小出和子(三条東RC)

川瀬年度は、奉仕プロジェクト委員会の小委員会として活動してまいりますが、下記の3点を計画しましたので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

1) 「認知症」に関するセミナーの開催

認知症患者数の増加は、世界的にも大きな社会問題となっており、早期の予防活動が重要になってきました。また、多くの人に「認知症」を正しく理解して頂き、だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らしていかれる社会が望まれています。

セミナーを通して、それぞれの企業やロータリアンができる、支援や取り組みについても考えて頂きたい。

2) 地区補助金(DG)の有効活用支援

社会奉仕の活動資金の一部として、各クラブから地区補助金を上手に利用して頂き、さらに活発な奉仕活動を行って頂けるように、地区ロータリー財団委員会と連携して、申請手続き等の支援をしていきます。

3) 環境保全活動の継続

新保年度に2100本の植樹作業を実施しましたが、各クラブができる範囲で、引き続き維持管理を行い、環境保全活動の継続に努めて頂きたい。



国際奉仕委員会活動方針

国際奉仕委員会
委員長 小越 憲泰 (三条RC)

2018~2019年度は奉仕プロジェクト委員会が組織され、そのなかで国際奉仕委員会が小委員会として活動する事になりました。特に認知症予防活動に協力支援する事を優先課題としていきます。

国際奉仕委員会の活動方針

- 1、奉仕プロジェクト委員会の活動を積極的に推進することに努める。
認知症は早期診断・早期介入を行えば、その進行を抑制する事が可能であり、予防が極めて重要であります。第2560地区内の各クラブにその事の重要性を呼びかけて行きます。
- 2、グローバル補助金の活用で海外への奉仕活動へのサポートに努める。
- 3、海外の姉妹クラブ・友好クラブとの交流促進に努める。
- 4、ドイツ・ハンブルク国際大会への参加促進に努める。



青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員会

委員長 佐藤 真介 (新潟東RC)

五大奉仕の第五部門となります青少年奉仕委員会は、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会の4部門で構成された委員会です。

青少年奉仕の理念とは、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

2560地区にはインターアクトが12クラブ、ローターアクトが9クラブあり、さまざまな奉仕活動や、自己啓発の場として活動しております。

そしてRYLA研修には毎年多くのご参加をいただいておりますが、今期も出来るだけ多くの研修生とロータリアンからのご参加により若者たちとの交流の場として親睦を深めてもらいたいと思います。

青少年交換につきましては毎年、夏期と1年間の交換留学生を募集しております。学生にとってはとても良い経験となり帰国した時には大きな成長をみることができます。

青少年奉仕は年間を通してさまざまな行事をおこないますが、ロータリアンが参加できる行事も多くあります。ぜひ、ロータリアンの皆様には青少年奉仕とはどんなことをしているのか実際に参加して若者たちの頑張りをみていただきたいと思います。

特にインターアクト、ローターアクトを提唱していないクラブには積極的に参加の呼び掛けをしたいと思います。

多くのロータリアンが行事に参加していただくことで青少年の皆はやりがいを感じると思いますし、ロータリアンと接することで色々な勉強ができると思います。

また、青少年奉仕が活性化すればロータリーの存在も多くの方々知ってもらえると思います。

次世代のロータリアンを育てるためにも、どうぞご理解ご協力を宜しくお願い致します。

基本方針

1. 青少年とロータリアンの交流を通じて、相互のリーダーシップの向上を計る。
2. 青少年奉仕委員会の行事への理解と参加を積極的に呼びかけること
3. インターアクト・ローターアクトの会員増強と意識の強化
4. インターアクト・ローターアクトを提唱していないクラブに青少年奉仕の知識や重要性を理解していただくこと

この基本方針に基づいて活動いたします。必要とあれば青少年奉仕委員会が説明や卓話に伺いますので、気軽にお声掛けください。

青少年奉仕委員会一同連携をとり一年間頑張っていきます。

どうぞ宜しくお願い致します。



インターアクト委員会

インターアクト委員会

委員長 水戸部 修一(新潟中央RC)

第2560地区2018-19年度青少年奉仕委員会インターアクト委員長を務めさせていただきます、新潟中央RCの水戸部修一と申します。

インターアクト活動は青少年のための奉仕クラブとして、第2560地区では12の学校の高校生がクラブ活動として自主的に運営しています。我々ロータリークラブメンバーのサポートを受けながら、同世代の参加者とともに地域のボランティアに参加し、また世界の文化に触れる国際交流を行います。

インターアクト活動は地域の若きリーダーを育てる将来投資の意味を持っています。高校生の皆さんがパブリックな考え方をもち、そして異文化にも理解のある人物となるきっかけを我々ロータリアンと共に共有することができたら幸いに存じます。

ホスト校を中心とした今年度の活動が有意義なものとなるよう精一杯務めて参ります。関係各位のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



ローターアクト委員会

ローターアクト委員会

委員長 山田 克史(新発田RC)

ローターアクトクラブは、1968年に国際ロータリーが推進し創設された18歳から30歳までの青年男女のクラブであり、当2560地区では、現在、9クラブがロータリークラブより提唱され、活動しています。

ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力開発のため、役立つ知識やスキルを身に付け、各地域社会の物質的、社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を築く機会を提供することにあると定款に示されています。

ロータリアンの皆様には、提唱クラブに関わらず、ご支援、ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

◇委員会基本方針

- ・地区ローターアクト活動の活性化並びに運営への全面的な支援
- ・ローターアクト会員への助言及び指導
- ・ロータリー会員へのローターアクト活動の目的とアクト会員増強への協力依頼





ライラ委員会

ライラ委員会

委員長 前川 秀樹(直江津RC)

ライラは「青少年指導者養成プログラム」であり、30歳までのロータリークラブの組織に囚われず参加できる研修会であります。

本年は9月29日～30日の1泊2日で上越市直江津のホテルを会場として、6月にオープンします上越市の目玉観光地である、上越市立水族博物館「うみがたり」の見学などを含めた、「若者が思う地域観光」をテーマに講演・見学・体験・レポートの構成で計画をしております。

各クラブのご理解とご支援と、ロータリアンを含めた多くの方の参加をお願い致します。



青少年交換委員会

青少年交換委員会

委員長 三牧 好起(頸北RC)

ロータリーの青少年交換の目的は、青少年の育成と世界平和です。世界100か国以上で実施されている青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。このプログラムにより、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは信じています

さて、当地区の青少年交換ですが、川瀬年度では、長期交換として受入4名、派遣4名並びに短期交換では受入6名、派遣4名の予定となっております。

青少年交換事業はともすると留学時の活動のみが重要と考えられがちですが、大切なのは留学後、学生がその経験をどう活かすかです。交換留学修了者(青少年交換学友)は、その後もROTEX(ローテックス)としてロータリー活動に参加して、当プログラムによる派遣生、来日学生の留学生活がより良いものになるようにサポートしていただきます。

2560地区では、これまで青少年交換を経験した多くのROTEXがおりますので、川瀬年度ではROTEX会を活性化させて当委員会の事業をより良いものにしていきたいと考えます。

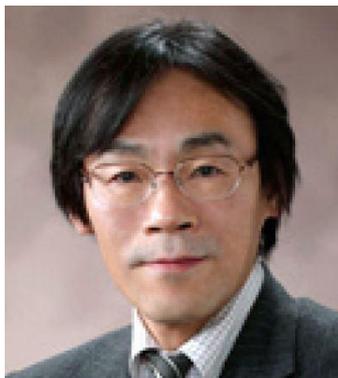
各クラブの皆様におかれまして、学生の応募がありましたらご協力をよろしく申し上げます。



ロータリー財団委員会

委員長 パストガバナー 佐々木昌敏

1. 私は、地区財団委員長を拜命して3年任期の3年目、最後の年にあたります。川瀬Gの応援団として、全力でご尽力、ご支援いたしたいと思います。
2. ご案内のように、
地区ガバナーは、国際ロータリー会長のために、
クラブ会長は、地区ガバナーのために
そして、地区委員も地区ガバナーのために
その方針を理解して、真意をくみとり、実行部隊として鋭意努めます。
3. かつて、事業者は、“いずれクラウンに乗りたい！”、“いずれロータリークラブに入りたい”という流れ、風潮があったと思いますが、最近、“ロータリーの人たちは、おいしい昼食を食べに集っているだけだ”ともいわれているようです。
4. ロータリーの神髄は、他者に思いを馳せ、奉仕を实践することだと思えます。奉仕活動には資金が必要となります。そのために募金活動を行い、寄付行為を行うことがロータリーの使命であり、ロータリー財団の担当分野であります。
奉仕という語感は現代世相に似合わないかもしれませんが、それでも真剣に奉仕活動に取り組むロータリーは、まさに“それでこそロータリー”ではないでしょうか。
5. 直江津クラブ 熊木会長は、創立60周年を機会に会員60名を目指して10数名の会員増強を達成されました。韓国の友好クラブを通じてのグローバル補助金活用とクラブ活性化を果たされました。
真剣に奉仕する人たちに“人が集まり、金が集まる”と直江津クラブの皆さんが教えてくださっているのではないかと思います。
6. 私たち財団委員会20名は、地区の奉仕活動を応援いたします。
2560地区のさらなる活性化に向けて、一致団結して川瀬年度を応援いたします。



米山記念奨学委員会の活動について

米山記念奨学委員会
委員長 宇尾野 隆 (新潟RC)

ロータリー米山記念事業は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する日本最大の民間奨学事業です。

当地区の受け入れ奨学生は、新規採用 18 名継続 9 名の合計で 27 名であります。昨年度と比べて 2 名の増加になっています。

国籍は、中国、モンゴル、ベトナム、メキシコ、韓国、アメリカ合衆国、エリトリア、カザフスタン、カンボジア、マレーシア、ロシアの 11 カ国であります。

所属学校は、新潟大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、上越教育大学、新潟医療福祉大学、新潟産業大学、敬和学園大学、国際大学、新潟経営大学、新潟工科大学、長岡造形大学の 11 校です。

地区米山記念奨学委員会としては、10 月の米山月間と諸行事・活動を通して、より多くの地区内ロータリアンに米山事業の意義と活用法について啓蒙し推進を図って参ります。また、世話クラブが奨学生の支援をしやすいように、そして奨学生がロータリー活動に参加し相互の理解と交流が図れますように、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

具体的には 3 つの小委員会を設け、次のような活動を行って参りたいと思っております。

① 寄付増進委員会

2 回の米山委員長セミナーやクラブへの卓話を通して、事業の意義を啓発し、寄付増進を図ります。奨学生の採用人数は、寄付金の額によって決まります。1 人でも多くの奨学生を採用し、多くのクラブに世話クラブとして、この事業に参加していただけるように多くの寄付金を集めて参りたいと思っております。

そのために、各クラブの卓話へ委員会メンバーと奨学生を派遣いたしますので、是非、ご利用していただきたいと思います。

② 奨学生選考委員会

大学説明会・奨学生選考会・奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会を開催し優秀な奨学生の採用と育成に努めて参ります。

③ 奨学生・学友委員会

奨学生・世話クラブ・カウンセラーの連絡調整、並ぶに奨学生 OB 会である学友会運営のサポートを行ないます。

奨学生が、ロータリーを理解し、日本と母国の懸け橋として、またロータリーの理念である「世界平和」に貢献できる人材として育てていくように努力をして参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



ロータリーの青少年奉仕活動と危機管理

地区危機管理委員会

委員長 石本 隆太郎(新潟RC)

日大アメリカンフットボール部の選手による悪質な反則行為問題が、連日、マスコミを賑わし、財務省の事務次官がセクハラ問題で失職。当県の県知事までが女性問題で辞任に追い込まれる等、危機管理に対する問題意識はかつてないほど高まっております。

ロータリーの青少年奉仕活動（青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ライラ）もそれぞれ長い歴史がありますが、地区の組織表に「危機管理委員会」が登場したのは、2007～08年の渡辺敏彦ガバナー年度からです。ロータリーにセクハラ問題等は想定外のことでしたが、2000年頃から世界各地で青少年交換学生が被害者となる虐待やハラスメント事件が多発。クラブ会長や地区ガバナーに1億円近い賠償金が求められる訴訟が発端となって、RI理事会は、大切な青少年の身の安全とロータリー組織を守るため、ロータリー章典の見直しを行い、世界全地区に対して危機管理体制の確立と、万一の場合に備えて、賠償保険への加入を青少年交換事業継続のための必須条件としたのです。

我が国では、パストガバナー有志が中心となって、特定非営利活動法人国際ロータリー日本青少年交換委員会（以下、RIJYECと訳す）を立ち上げ、34地区のガバナーの賛同を得て、会員1人当たり100円の支援金（会員9万人であれば900万円）等で、交換学生への支援事業と、賠償保険（1億円の損害賠償＝100万円の保険料）への加入が実行され、当地区も、毎年、特別会計より約21万円の支援金を拠出してきました。

2015～16年の山本ガバナー年度に第2560地区危機管理委員会規定が制定され、RIJYECの支援金も会員1人当たり100円から200円に値上げとなり、当地区も特別会計より42万円を拠出してきましたが、青少年交換事業に係るクラブが少ないこともあり、クラブ会長はじめ会員への周知徹底が、必ずしも十分ではありませんでした。

危機管理委員会の構成は、RI理事会の指導により、委員長はパストガバナーが務め、青少年奉仕活動に携わる上記委員会委員長の他、ガバナーエレクトとガバナー補佐1名、ロータリアン以外の有識者委員3名（女性代表、司法関係者、医師等）により構成され、ガバナーと地区幹事も参加する、他の地区委員会とはかなり性格の異なる委員会です。

2016～17年の田中ガバナー年度に、RIと全国34地区とRIJYECの関係が従来のサンドイッチ型からマルチ型（多地区合同奉仕活動）への移行が決議されました。

2017～18年の新保ガバナー年度には、自然災害やテロ事件の多発等で、ロータリーの青少年奉仕活動を取り巻く環境は、危険が増大しているとの判断から、RI理事会は、インター、ローター、ライラの委員会活動も、賠償保険の対象とする通達を出しました。

2018～19年度の川瀬ガバナーは、RIJYECの支援金を特別会計から一般会計に移すとともに、インター、ローター、ライラの委員会活動への賠償保険も予算計上し、当地区としても万一の場合に備える体制が固まりつつあります。危機管理委員会は、7月22日に開催予定の地区危機管理委員会を通じて、各委員会事業に対する危機管理体制のさらなる徹底をはかってまいりますので、会員各位のご協力をお願いいたします。



ロータリー地域協働ネットワークセンター 活動方針

センター長
高橋 悟（雪国魚沼 RC）

I. 基本方針

ロータリアンはもとより、ロータリー家族と共に「地域と協働するロータリー」を具現するため、協働ネットワークセンターを核に地区一体となって活動を推進するとともに、地域の発展に欠かせない防減災意識を高めるため、地区ガバナースタッフと地区内全てのロータリークラブが連携した活動を進めます。

また、他地域での災害復興に資する支援に対しても、ロータリーの理念を基に速やかな対応を目指します。

II. センターの活動目的

1. 活動を通じて地域に貢献

：協力団体と連携を深め、会員相互が地域内での防減災への認識を高めるとともに、広く県民にロータリーへの理解を深めていただく事を通じて、会員増強への一助とします。

2. 地区内ロータリアンの互助力・共助力を高める

：センターでの活動を通じて会員間のより強固な絆づくりを進めます。

3. 危機管理意識の啓発と行動力の強化

：防減災セミナーを開催し、災害時の備えと安全の確保の大切さを周知します。

III. 取り組みの概要

1. 協働団体との連携強化

関係団体との連携を進め、互尊互助の信頼関係を深めます。

新たに新潟県社会福祉協議会との連携を模索します。

2. 緊急時対応の整備

会員の理解と協力の下に、災害への迅速な支援に備えて以下の整備を進めます。

★資機材の提供

★人的資源の確保

★経済的な支援

3. 防減災セミナーの開催…平成 30 年 8 月 4 日（土） 13 時 00 分～15 時 30 分

目的：地域内関係団体との連携強化と会員の危機管理意識の向上を図ります。

会場：長岡市震災アーカイブセンター（まちなかキャンパス 2 階）

参加対象者：ガバナー、地区幹事、地区財務委員、ガバナー補佐、川瀬年度センターの委員クラブの登録者（ネットワーク緊急連絡網に登録された担当者又は代理者）

ロータリー-地域協働ネットワークセンター
 センター長：高橋 悟 (雪国魚沼) 顧問：鈴木 重彦 (長岡)
 副センター長：清水 信博 (高田東) 佐藤 昭 (中条)

地区奉仕プロジェクト委員長 菊池 渉 (三条)
 地区職業奉仕委員長 五十嵐昭一 (三条東)
 地区社会奉仕委員長 小越 和子 (三条東)
 地区国際奉仕委員長 小越 蕨泰 (三条)
 地区青少年奉仕委員長 佐藤 真介 (新潟東)

・評議委員会 地区諮問委員の皆様
 ・事務局 川瀬ガバナー事務所 地区幹事 関川 博 (三条)

R I 会長 (2018~19年度) パリー・ラシン (イーストナツソンRC/パハマ)
 R I D2560 (2018-2019年度) ガバナー 川瀬 康裕 (三条)
 危機管理委員会 (別掲1)

手続・規則委員会
 長谷川啓一 伊藤秀夫 関川 博
 地区戦略計画推進委員会
 川瀬 康裕 大谷 光夫
 関川 博 本山 秀樹
 金子 俊郎 水上 豊芳
 地区運営改善検討委員会 (別掲2)

RID2560 (2019~2020) ガバナーエレクト 大谷 光夫 (高田)
 地区幹事 本山 秀樹 (高田)
 地区財務委員 水上 豊芳 (高田)
 RID2560 (2020~2021) ガバナーノミニニー
 地区幹事
 地区財務委員

地区運営アドバイザー
 地区諮問委員 大島 精次 (高田) 地区研修リーダー 田中 政春 (長岡西)
 神成 爾一 (新潟西) 地区ガバナー指名委員 山崎 堅輔 (中条)
 中條 敏彦 (新潟南) 佐々木昌敏 (小千谷)
 渡辺 紳二 (三条北) 山本 和則 (新潟南)
 馬場 信彦 (新潟南) 田中 政春 (長岡西)
 植木 康之 (柏崎) 新保 清久 (新潟万代)
 東山 听也 (高田) 地区拡大カウンセラー 石本隆太郎 (新潟)
 鈴木 重彦 (長岡) 山本 和則 (新潟南)
 山崎 堅輔 (中条) 田中 政春 (長岡西)
 佐々木昌敏 (小千谷) 新保 清久 (新潟万代)
 山本 和則 (新潟南) 意義ある業績賞選考委員 田中 政春 (長岡西)
 新保 清久 (新潟万代) 新保 清久 (新潟万代)
 副ガバナー 川瀬 康裕 (三条)
 新保 清久 (新潟万代) ローターリーコーディネーター補佐
 規定審議会代表議員 鈴木 重彦 (長岡)
 代表議員 山本 和則 (新潟南) ローターリー地域コーディネーター補佐
 補欠議員 山本 和則 (新潟南) 山本 和則 (新潟南)
 ローターリー米山記念奨学会 RI理事指名委員
 理事 植木 康之 (柏崎) 鈴木 重彦 (長岡)
 評議員 石本隆太郎 (新潟) ローターリーの友地区代表委員
 広報委員 山本 和則 (新潟南) 米山 智哉 (三条)
 日本のロータリー100周年委員会 RIYEC研修部門委員
 山本 和則 (新潟南) 倉茂 章 (頸北)

ガバナー補佐
 第1分区 ガバナー補佐 佐藤 真 (村上岩船)
 新発田、村上、水原、中条、新発田城南、豊栄、
 新発田中央、中条胎内、村上岩船
 第2分区 ガバナー補佐 丸山 常彦 (新潟中央)
 新潟、新潟東、新潟南、佐渡、新潟西、佐渡南、
 新潟北、新潟中央、新潟万代
 第3分区 ガバナー補佐 吉田 竹也 (白根)
 新津、村松、五泉、白根、新津中央、阿賀野川ライオン
 第4分区 ガバナー補佐 久住 龍夫 (分水)
 三条、燕、加茂、三条南、分水、見附、吉田、
 三条北、巻、田上あじさい、三条東
 第5分区 ガバナー補佐 佐藤 一男 (栃尾)
 長岡、柏崎、長岡東、柏崎東、栃尾、長岡西、
 柏崎中央
 第6分区 ガバナー補佐 池田 重夫 (十日町北)
 十日町、小千谷、雪国魚沼、十日町北、津南、
 越後魚沼
 第7分区 ガバナー補佐 宮下 謙幸 (高田東)
 高田、直江津、新井、糸魚川、高田東、
 糸魚川中央、頸北、越後春日山

ガバナースタッフ
 地区幹事 ○ 関川 博 (三条) 2年
 本山 秀樹 (高田) 3年
 丹治 芳子 (新潟万代) 1年
 地区財務委員 ○ 金子 俊郎 (三条) 2年
 水上 喜芳 (高田) 3年
 伊藤 秀夫 (新潟万代) 1年
 担当地区副幹事 中村 和彦 (三条)
 筆頭地区副幹事 (四大大会アシスト担当)
 奉仕プロジェクト委員会 菊池 渉 (三条)
 (国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕)
 クラブ奉仕委員会担当 杉山 幸英 (三条)
 (P E T Sアシスト正担当)
 財務担当 山口 昇 (加茂)
 (P E T Sアシスト副担当)
 米山記念奨学会・総務担当 若槻八十彦 (三条)
 (地区研修・協議会アシスト正担当)
 ローターリー財団委員会・公式訪問担当 吉井 直樹 (三条)
 (地区研修・協議会アシスト副担当)
 青少年奉仕委員会担当 明田川賢一 (三条)
 (地区大会アシスト正担当)
 ガバナー月信、広報担当 小林 吾郎 (三条)
 (地区大会アシスト副担当)
 地区会計監査 石川 勝行 (三条北)

地区主要行事 特別委員会
 会長エレクト研修セミナー 2018/3/24(上) 杉山 幸英 (三条)
 副実行委員長 五十嵐昭一 (三条)
 副実行委員長 西山 徳芳 (三条)
 副実行委員長 柳取 崇之 (三条)
 担当幹事(記録・会計) 落合 孝夫 (三条)
 地区研修・協議会 2018/5/19(上) 萩根澤隆雄 (三条)
 実行委員長 若槻八十彦 (三条)
 副実行委員長 佐野 勝榮 (三条)
 副実行委員長 田代徳太郎 (三条南)
 担当幹事(記録・会計) 落合 孝夫 (三条)
 地区大会 2018/11/10(土) 11(H) 高藤 弘文 (三条)
 実行委員長 小出子恵出 (三条)
 副実行委員長 丸山 行彦 (三条)
 副実行委員長 渡辺 良一 (三条)
 副実行委員長 明田川賢一 (三条)
 副実行委員長 荒澤 威彦 (三条南)
 副実行委員長 金子太一郎 (三条北)
 副実行委員長 長谷川恵慈 (三条東)
 大会幹事長 木村 文夫 (三条)
 担当幹事(記録・会計) 落合 孝夫 (三条)
 地区大会記念ゴルフ大会 2018/10/4(木) 中村 信一 (三条)
 実行委員長 中條 克俊 (三条)
 副実行委員長 内藤 豊大 (三条南)
 副実行委員長 佐藤 義英 (三条北)
 副実行委員長 菅家 敏彦 (三条東)
 副実行委員長 加藤紋次郎 (三条)
 担当幹事(記録・会計) 落合 孝夫 (三条)
 *主要行事特別委員会は、6ヶ月以内に報告書(決算含む)提出後解散

クラブ奉仕委員会
 ◎ 馬場 伸行 (新潟西)
 ○ 安藤 幸夫 (新潟東)
 クラブ戦略計画推進委員会
 △ 大澤 力 (新潟西)
 広報・公共イメージ向上委員会
 △ 安藤 幸夫 (新潟東)
 丸山 常彦 (新潟中央)
 吉田 竹也 (白根)
 久住 勲夫 (分水)
 佐藤 一男 (栃尾)
 池田 重夫 (十日町北)
 宮下 謙幸 (高田東)

奉仕プロジェクト委員会
 ◎ 菊池 渉 (三条)
 社会奉仕委員会
 △ 小出 和子 (三条東)
 伊藤 寛一 (三条)
 山田 恭弘 (分水)
 皆木 昭夫 (頸北)
 (国際大会参加推進委員会)
 (ドイツ・ハンブルグ)

青少年奉仕委員会
 ◎ 佐藤 真介 (新潟東)
 ○ 石倉 悟 (高田)
 インターアクト委員会
 △ 水戸部修一 (新潟中央)
 皆川 功次 (新潟万代)
 森田 耕司 (高田東)
 ローターアクト委員会
 △ 山田 克史 (新潟南)
 上村 宏 (長岡東)
 関根 功雄 (白根)
 ライフ委員会
 △ 前川 秀樹 (直江津)
 角谷 正雄 (雪国魚沼)
 橋本 英俊 (栃尾)
 青少年交換委員会
 △ 三牧 好起 (頸北)
 △ 鈴木 映一 (新潟北)
 △ 本間 長市 (新潟南)
 チャールズ・C・ストラットン(高田)
 坂上 彰平 (豊栄)

ロータリー財団委員会
 ◎ 佐々木昌敏 (小千谷)
 ○ 後藤 隆生 (新潟南) ○ 山田 雄治 (新潟南)
 補助金・奨学金VIT委員会 寄付・資金・ポリオプラス委員会
 ○ 斎藤 秀明 (新潟南) △ 清田 康之 (新潟田)
 補助金委員会 △ 野崎喜一郎 (三条)
 △ 菅原 勉志 (新潟万代) 今井 芳夫 (小千谷)
 △ 渡辺 秀一 (佐渡南) 武田 真 (水原)
 鈴木 孝二 (新潟田中央) 学友委員会
 中村 公哉 (長岡東) △ 高橋 秀樹 (新潟)
 熊倉 高志 (三条南) 平和フェロー委員会
 奨学金・VIT委員会 △ 山田 雄治 (新潟南)
 △ 五十嵐 英紀 (新潟万代) 佐々木昌敏 (小千谷)
 △ 吉井 直樹 (三条) 後藤 隆生 (新潟南)
 村上揚市郎 (長岡西) 資金管理委員会
 得永 哲史 (新潟) △ 得永 哲史 (新潟)
 宮崎 朋子 (越後春日山) 田村 修 (新潟西)

米山記念奨学会
 ◎ 宇尾野 隆 (新潟)
 ○ 吉村 鳳一 (新潟西)
 奨学生・学友委員会
 △ 小林 素子 (新潟東)
 千田 芳賢 (新潟万代)
 渡邊 嘉子 (新潟中央)
 野澤 修 (新潟東)
 寄付増進委員会
 △ 中町 圭介 (小千谷)
 長澤 弘樹 (柏崎)
 小林 博己 (新潟南)
 小川 玄太 (新潟北)
 奨学生選考委員会
 △ 宮嶋 正明 (新潟田)
 若山 良夫 (新潟南)
 原 正 (新潟南)
 鈴木 公子 (柏崎中央)
 小木 将綱 (新潟)

表彰審議委員会
 ◎ 中條 耕二 (三条北)
 山崎 堅輔 (中条)
 佐々木昌敏 (小千谷)
 倉倉 昌平 (三条北)
 米山 忠俊 (三条北)
 長谷川日吉 (吉田)
 (別掲2)
 地区運営改善検討委員会
 ◎ 鈴木 重彦 (長岡)
 山崎 堅輔 (中条)
 山本 和則 (新潟南)
 新保 清久 (新潟万代)
 丹治 芳子 (新潟万代)
 関川 博 (三条)
 時田 政義 (中条)

危機管理委員会
 委員長 石本 隆太郎 (新潟)
 メンバー
 ガバナーエレクト 大谷 光夫 (高田)
 ガバナーノミニニー
 青少年奉仕委員長 佐藤 真介 (新潟東)
 青少年交換委員長 三牧 好起 (頸北)
 ローターアクト委員長 山田 克史 (新潟田)
 インターアクト委員長 水戸部修一 (新潟中央)
 米山記念奨学会委員長 宇尾野 隆 (新潟)
 ローターリー財団委員長 佐々木昌敏 (小千谷)
 広報委員長 安藤 幸夫 (新潟東)
 RIYEC研修部門委員 倉茂 章 (頸北)
 外部有識者委員 大島照美子 (女性財団顧問)
 外部有識者委員 柳 則行 (弁護士)
 医師 梶熊 紀雄 (新潟)

2018-19 年度 ロータリークラブ対象のロータリー賞

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブが My ROTARY でクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。そのほかの項目については、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。達成は、2018年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2019年7月1日時点の会員数が確定した後となる2019年8月15日に表彰されます。

なお、今年度は、ロータリー賞の必要項目を達成し、さらに追加項目から1~3項目を達成したロータリークラブに、ロータリー会長特別賞が贈られます。

クラブのサポートと強化

以下のうち3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する
 - クラブの会員維持率を1ポイント上げるまたは
 - 2017-18年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも60%の会員が、My ROTARY から生年月日を入力する。
- 新しいロータリークラブのスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。

人道的奉仕の重点化と増加

以下のうち3項目を達成

- ロータリー地域社会共同隊を提唱する。
- インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- 年次基金への会員一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。

公共イメージと認知度の向上

以下のうち3項目を達成

- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を「ロータリーショーケース」に投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- 青少年交換学生または RYLA 参加者を派遣する。

2018-19 年度 ロータリー会長特別賞

ロータリークラブ

ロータリー賞の必要項目を達成し、
さらに以下の追加項目を達成：

- 1 項目達成で「シルバー賞」、
- 2 項目達成で「ゴールド賞」、
- 3 項目達成で「プラチナ賞」

- 会員5名以上の純増を達成する。
- 毎月少なくとも4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動を紹介し、「世界を変える行動人」としてのクラブ会員の姿を示す。
- リーダー育成プログラム、自己啓発プログラム、専門能力開発プログラムのいずれかを開始または継続して、会員のスキルを養い、会員であることの価値を高める。

ロータリーアクトクラブ

ロータリー賞の必要項目を達成し、
さらに以下の追加項目を達成：

- 1 項目達成で「シルバー賞」、
- 2 項目達成で「ゴールド賞」、
- 3 項目達成で「プラチナ賞」

- 会員5名以上の純増を達成する。
- 毎月少なくとも4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動を紹介し、「世界を変える行動人」としてのクラブ会員の姿を示す。
- リーダー育成プログラムか専門能力開発プログラムを開始または継続して、会員のスキルを養い、会員であることのメリットを高める。

インターアクトクラブ

ロータリー賞の必要項目を達成し、
さらに以下の追加項目を達成：

- 1 項目達成で「シルバー賞」、
- 2 項目達成で「ゴールド賞」、
- 3 項目達成で「プラチナ賞」

- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力して、地元ロータリークラブによる奨学金やその他の奨学金など、会員が利用できる奨学金の機会を調べ、これをクラブに紹介する。
- クラブとその奉仕活動を紹介した動画を毎年恒例の「インターアクトビデオ賞」に応募することで、「世界を変える行動人」としてのクラブ会員の姿を示す。
- リーダー育成プログラムを開始または継続して、会員のスキルを養い、会員であることのメリットを高める。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。





三条南ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会報告

「変革・新たなるスタート50年」

三条南ロータリークラブ
会長 野崎 正明

三条南ロータリークラブは、1968年6月20日三条ロータリークラブ様のスポンサーのもと、第四分区4番目のクラブとして26名のチャーターメンバーでスタートいたしました。今日まで会員数の変遷はありましたが、式典は何とか50名の会員で迎えることが出来ました。

当日は記念式典、記念演奏会、記念祝賀会の3部構成で進行いたしました。一部式典の記念事業として、三条市へ7人乗り乗用車「ロータリー号」壺台を贈呈いたしました。また創立以来、クラブ事務所と例会場を提供頂いている三条信用金庫様に感謝状と金一封を贈呈いたしました。そして3名の来賓挨拶のあと、新保ガバナーより、RI会長イアンH.S.ライズリー氏の「クラブ創立50周年表彰状」とメッセージを頂き、大変感激をいたしました。

二部記念演奏会では、クラシックのテクニックをベースに洋楽アーティスト、特にビートルズのナンバーを中心にカバーする女性カルテットの“1966カルテット”による素晴らしい演奏を聴くことが出来ました。アンコールが止みならず、カルテットの大作となるオリジナル曲を最後に披露して頂きました。

三部の祝賀会は、バイオリンとピアノの生演奏の素敵なBGMが流れる中、料理と飲み物に舌鼓を打ちながらお祝いの楽しい時間を過ごして頂けたと思っております。

最後は「手に手つないで」を大勢の皆さんと合唱し、盛会のうちに終了することが出来ました。

なお、当日は公務多用の中、新潟県副知事高井盛雄様、三条市長國定勇人様、そして三条商工会議所会頭兼古耕一様をはじめとする来賓の皆様、また第2560地区ガバナー

新保清久様をはじめ歴代パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニの皆様、そして大勢の県内各ロータリークラブの皆様の臨席を頂き、大変有難うございました。

私達クラブはロータリーの原点に立ち返り、先人の皆様が築かれた伝統や歴史を受け継ぎながらも、新しい時代、新しい地域社会に順応し対峙していくことも肝要であると考えております。これからも必要とされるロータリークラブを目指し、更に前進していく所存です。今後ともよろしくお願いたします。



国際ロータリー第2560地区 2018-2019年度

ガバナー公式訪問日程

2018.7月

※クラブ名のあとの数字は分区

2018年6月5日現在

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9 新潟万代 ②	10	11 新潟南 ②	12 長岡西 ⑤	13	14	15
16 海の日	17	18	19 新潟西 ②	20	21	22
23 新発田 ①	24	25 中条 ①	26 小千谷 ⑥	27	28	29
30 高田東 ⑦	31 長岡 ⑤					

2018.8月

月	火	水	木	金	土	日
		1 高田 ⑦	2 村上 ①	3	4	5
6 中条胎内 ①	7 新潟中央 ②	8	9 新潟東 ②	10	11 山の日	12
13	14	15	16	17	18	19
20 津南 ⑥	21	22 十日町北 ⑥	23 十日町 ⑥	24	25	26
27	28 新津中央 ③	29 糸魚川中央⑦	30 糸魚川 ⑦	31		

2018.9月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 GETS	4 GETS	5 GETS	6	7	8	9
10	11 栃尾 ⑤	12 佐渡南②	13 佐渡②	14	15	16
17 敬老の日	18 越後魚沼 ⑥	19 長岡東 ⑤	20 見附 ④	21	22	23 秋分の日
24	25 柏崎中央 ⑤	26 雪国魚沼 ⑥	27 新発田城南①	28	29	30

2018.10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2 村松 ③	3 水原① 豊栄①	4 地区大会記念 親睦ゴルフ大会	5	6	7
8 体育の日	9	10 新発田中央①	11 白根 ③	12	13	14
15 吉田 ④	16 田上あじさい④	17 柏崎 ⑤	18 巻 ④	19	20	21
22 柏崎東 ⑤	23	24 頸北 ⑦	25 越後春日山⑦	26	27	28
29 村上岩船 ①	30 直江津 ⑦	31				

2018.11月

月	火	水	木	金	土	日
			1 加茂 ④	2	3 文化の日	4
5	6 分水 ④	7	8 五泉③ 阿賀野川ライン③	9	10 地区大会 RI会長晩餐会	11 地区大会
12 新潟北 ②	13	14 新井 ⑦	15 燕 ④	16	17	18
19 RC研究会	20 RC研究会	21 RC研究会	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27 新潟 ②	28	29	30		

2018.12月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4 三条北 ④	5 新津 ③	6 三条東 ④	7	8	9
10 三条南 ④	11	12 三条 ④	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日
24 振替休日	25	26	27	28	29	30
31						



第2560地区 2017-18年度 5月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		85.90	364	379	36	15
新発田	3	93.24	93	97	0	4
村上	5	80.00	37	37	9	0
水原	4	85.44	27	28	0	1
中条	4	88.20	34	36	3	2
新発田城南	4	80.00	41	41	3	0
豊栄	4	87.50	26	26	3	0
新発田中央	4	86.24	45	50	5	5
中条胎内	3	90.09	33	37	7	4
村上岩船	4	82.41	28	27	6	-1
第2分区(9クラブ)		82.29	441	445	19	4
新潟	5	91.08	86	88	0	2
新潟東	3	85.57	62	61	7	-1
新潟南	5	83.53	99	105	2	6
佐渡	5	77.10	7	7	0	0
新潟西	4	73.93	41	39	1	-2
佐渡南	4	92.31	41	41	4	0
新潟北	4	75.63	43	41	0	-2
新潟中央	4	82.00	24	25	0	1
新潟万代	4	79.47	38	38	5	0
第3分区(6クラブ)		78.74	122	119	6	-3
新津	4	73.62	18	18	0	0
村松	4	92.50	11	10	0	-1
五泉	3	76.92	17	14	1	-3
白根	3	79.04	37	37	2	0
新津中央	5	85.34	29	30	2	1
阿賀野川ライン	4	65.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)		81.20	368	371	23	3
三条	4	88.10	57	59	0	2
燕	4	71.55	33	33	1	0
加茂	4	73.27	29	28	4	-1
三条南	4	91.14	48	50	3	2
分水	4	79.49	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	2	91.07	33	28	2	-5
三条北	3	84.10	64	65	2	1
巻	4	83.80	14	18	1	4
田上あじさい	4	85.70	7	7	1	0
三条東	3	75.00	32	33	5	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	5月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		86.68	314	322	23	8
長岡	4	87.50	39	49	1	10
柏崎	4	82.41	45	43	0	-2
長岡東	3	83.20	66	70	5	4
柏崎東	4	86.17	50	45	4	-5
栃尾	4	96.00	21	22	0	1
長岡西	4	83.49	57	57	5	0
柏崎中央	3	87.96	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)		83.12	154	158	11	4
十日町	4	98.52	34	34	3	0
小千谷	4	66.89	38	39	5	1
雪国魚沼	4	70.20	25	27	2	2
十日町北	3	97.22	23	24	0	1
津南	4	88.89	27	27	1	0
越後魚沼	5	77.00	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)		83.27	320	342	26	22
高田	3	97.70	66	67	0	1
直江津	4	75.49	48	63	5	15
新井	4	73.33	29	31	3	2
糸魚川	4	85.58	42	43	3	1
高田東	3	84.62	38	39	3	1
糸魚川中央	3	80.00	34	35	0	1
頸北	4	80.40	14	15	1	1
越後春日山	4	89.00	49	49	11	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
5月末 会員数	2,136	人
女性会員数	144	人
純増減会員数	53	人
当月平均出席率	83.05	%



7月地区の予定

(RI レート : \$1=¥110)

		地区主要行事	会場
1	(日)	第1回ガバナー会議／ ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
1	(日)	2018 全国青少年交換委員長会議	
22	(日)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
27-28	(金土)	インターアクト年次大会 (新潟中央 RC)	割烹の宿 湖畔
28	(土)	会員増強セミナー	ホテルオークラ新潟
28	(土)	防減災セミナー	長岡市震災アーカイブセンター

8月地区の予定 【会員増強・新クラブ結成推進月間】

		地区主要行事	会場
4	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
7	(火)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
25	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー／ 地区補助金オリエンテーション	万代シルバーホテル



■ 強いクラブを創る

ロータリークラブにおけるすべてのことは満足感に始まり満足感に終わるといわれます。勿論、ロータリアンがクラブ会員として維持、継続している理由もこの満足感にあると言えるでしょう。例会に出席するのが楽しい、楽しみだ、友人に会えると思える環境が満足感をつくり出す第1のステップではないでしょうか。これらの環境は私達共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものであり、互いの関係や行動の土台として、ロータリーの基本理念である「ロータリーの目的」「四つのテスト」を大切にしています。そして多くのロータリアンの満足感奉仕(Service)、親睦(Fellowship)、多様性(Diversity)、高潔性(Integrity)、リーダーシップ(Leadership)という中核的価値観であらわすことができます。

- 奉仕(Service)は会員に受け入れられる事業をしているだろうか？会員の参加人数(率)は充分だろうか？社会に評価されている事業だろうか？等を調査する必要があるのではないのでしょうか。
- 親睦(Fellowship)はどうでしょう。会員間の相互のコミュニケーションは充分にとられているのでしょうか？ロータリーの基本理念を踏まえた討論ができる環境はあるのでしょうか？特定の会員に疎外感をあたえる行動はしていないのでしょうか？等などを検討すべきでしょう。
- 多様性(Diversity)では職業に偏りはありませんか？年齢構成は、若い会員が入会しやすい環境はありますか？女性会員の比率はどうですか？など様々なアイデアを導入するために多様な会員構成になっているのでしょうか？
- 高潔性(Integrity)については社会的責任としての「四つのテスト」や職業奉仕について自分と職業の倫理向上に役立つ学びの機会がもたれているのでしょうか？
- リーダーシップ(Leadership)では会員の誰もが自ら進んで様々なロータリー活動に行動できているのでしょうか？自分の考えやアイデアを他の会員に話したり、活躍の場や、それを受け入れる環境づくりがなされているのでしょうか？

私達はクラブにおいて、これらの中核的価値観を5段階に分けたアンケート調査で数値化した満足度を調査することで自分のクラブがどんなクラブであるのかを知ることができます。満足度が高いクラブは今後どのように維持して行けば良いのかを、また、満足度の低いクラブは何をどのように改善すべきかを検討する必要があります。

クラブの分析をするリソースとしては国際ロータリーの資料「クラブの健康チェック」(2540-JA-(516))があり、結果に対する対処方法のヒントが記述されています。他にもロータリー・リーダーシップ・研究会(RLI)「参加者テキスト資料:戦略計画とクラブの分析①ロータリークラブ自己評価表」が参考になります。

分析の結果①クラブ現在の状況の把握として長所と短所を振り分ける。②クラブのビジョンを描く。3年先のクラブのなりたい姿を想像します。③ビジョンに対する具体的な3年計画を立てます。④目標に対する進捗状況の把握と修正を定期的に行います。そして、これらの**分析と計画の立案には会員の満足度を向上させるためにも全会員の参加が最も重要**です。戦略計画の立案にはリソースとして国際ロータリーの資料「戦略計画立案ガイド」があります。

強いクラブを創るためには会員の満足度が高くなければなりません。当然のことですが、満足していれば退会者が減少します。そして、前述したようにロータリーの中核的価値観に基づいた行動をしていけば入会予定者にも魅力的なクラブとして映るはずです。その結果、会員増強に繋がれば多くのアイデアが生まれ行動するマンパワーにも恵まれることになります。私はすぐにも全てのクラブが「**会員満足度調査**」をするように提案します。

■ クラブの存続をかけた行動

私は先日あるクラブの会長からメールをいただきました。会員の減少が著しく、この一年間は会員増強にクラブの存続をかけ全力で運営をしていきたいとのこととあります。会員減少の引き金にはロータリーの二つの地区をまたがる市町村合併もあったようです。掲載の文中のフォーラムのパネリストには近郊クラブの若い会員に受けてもらい新鮮なアイデアを参考にして立て直しをはかるそうです。必死に頑張っているクラブがあることを知ってほしいとのことでしたので、メールの一部をクラブや個人が特定される部分は伏せ字として斜体文字で掲載します。是非とも強いクラブに生まれ変わっていただきたいと心から願うものです。

「創立満40年来年3月に迎える当クラブは、高齢化等で退会者が増え、本年度はついに会員数が10名を切る危機的状況になってしまいました。

この危機的状況に直面し、「あ〜もう駄目だ」と考えるか、「今一度努力しよう」と考えるかは人によって異なるところですが、私は「今迄、会員増強に本気で対処して来ただろうか？」と反省し「皆で今一度努力しよう」と考え、この1年間を「〇〇ロータリークラブ会員増強特別年度」と位置づけ、会員増強に取り組む決意です。会員各位の最大限のご協力をお願い致します。

意気込みだけでは成果は上がりません。具体的には本年9月11日にフォーラム(公開討論会)「〇〇みらいロータリークラブ」を開催する計画を立てました。一人でも多くの方々にフォーラムへご参加頂き、ロータリーを正しく知って頂き、ロータリーへ参加して頂きたいと考えております。

年度初期にはこの準備に傾注し、フォーラム開催後は多くの方々に当クラブへの加入をお勧めする事に最大限の努力をし、本年12月末迄には多くの方々に入会して頂きたいと考えています。

私は、現会員全員が発起人になり新たなクラブ「〇〇みらいロータリークラブ」を設立する気概で取り組みたいと考えます。会員の皆様にも、是非同じ気概で取り組んで頂きたいと考えます。」



よねやま親善大使 退任式・任命式

6月4日理事会終了後、第3代よねやま親善大使の任命式が行われ、全国各地の理事が見守るなか、小沢理事長から委嘱状とタスキが手渡されました。また、この6月末で退任となる第2代よねやま親善大使の3人に、感謝の盾が贈られました。第2代親善大使の3人には任期を1年延長して3年間、精力的に活動していただき、心より感謝申し上げます。

また、理事会前日の3日には、第3代よねやま親善大使オリエンテーションを開催。広報委

員会委員長の宇佐見 透氏を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、現親善大使から先輩としての体験談を話していただきました。

7月からは、第3代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。地区の米山関連行事などに、ぜひ呼びください。招へいのご相談は、まずは米山奨学会事務局広報担当（峯・野津）まで。どうぞよろしくお願いいたします。



理事会開催報告 — 2019 学年度採用数は 850 人に —

6月4日に第19回理事会が開催され、全国から27人の理事と監事3人が出席しました。

主な議案として、定款変更の件、2018学年度採用の件、2019学年度奨学生採用数と募集要項の件、2018年度の事業計画案および収支予算案



の件、2018年度資産運用方針の件、奨学金給与規程一部改定の件などが審議されました。また、理事改選に伴い、役員候補者指名委員会を設置するため、委員の選任が諮られました。

すべての議案は原案通り承認され、2019学年度の奨学生採用数は前年度比30人（枠）増の850人（枠）とすることや、海外応募者対象奨学金が6年にわたる試行期間を終え、2019学年度の正規奨学金プログラムに加わるなどが決定しました。

議事終了後は、出席している理事、常務理事から出されたいくつかの質疑について、忌憚のない意見交換の時間を持ちました。

寄付金速報 — 今年度の送金はお早目に —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて6.5%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：9.5%増）、約8,100万円の増加となりました。財団設立50周年である今年度は、2年ぶりに14億円を超えることがほぼ確定的となりました。ご寄付をいただきました皆様に心より感謝いたします。

寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月29日（金）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ご送金の際には日程に余裕を持ってお送り下さいますよう、今年度最後までのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

おかえりなさい！ 帰国学友歓迎会 — 韓国米山学友会 —

韓国米山学友会が5月19日、帰国米山学友歓迎会を開催し、33人が参加しました。この会は、韓国へ帰国して間もない元米山奨学生を同学友会が歓迎するもので、毎年恒例のイベントとなっています。

毎年2～3人の日本人を支援しています。3期生の3人は、啓明大学、慶照大学、東国大学大学院に通っており、それぞれ1年間、100万～200万ウォンの奨学金を受けながら、韓国での勉学に励みます。



また当日は、韓国米山学友会と韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブが協同で支援する、日本人奨学生第

3期生の3人が紹介され、奨学金授与、メンター（カウンセラー）役の学友との顔合わせが行われました。同奨学金制度は2016年にスタートし、



50周年記念式典報告書・記録DVDがまもなく完成

2月4日開催の財団設立50周年記念式典には、700人を超える方にご出席いただきました。すでに、この「ハイライトよねやま」（215号）や『ロータリーの友』（2018年4月号）で概略をご報告していますが、いよいよその全貌を伝える報告書と記録DVDが完成します。

報告書（オールカラー、64ページ）はPDF形式で、当会ホームページからご覧いただくことができます。また、記録DVD（全再生時67分）は、CHAPTER毎にスキップして再生可能です。例会や行事での上映にDVDのご要望があれば、ご用命ください。

※完成は、6月27日予定です。送付はそれ以降となりますので、あらかじめご了承ください。



文庫通信 (370号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎ 「2人のRI会長・4つの骨の物語」 渡辺好政 2018 2p
(D. 2690地区大会記念誌)
- ◎ 「家族のきずな」 今井鎮雄 [2002] 9p (D. 2510RYLAセミナー)
- ◎ 「働く誇り」 矢部輝夫 [2014] 6p (D. 2510RYLAセミナー報告書)
- ◎ 「大切なのは今」 黒川光博 2018 8p (D. 2590地区大会の記録)
- ◎ 「輝いて生きる」 ジュディ・オング 2018 5p
(D. 2780地区大会報告書)
- ◎ 「グローバル化と自国第一主義」 池上彰 2018 19p
(D. 2760地区大会記録誌)
- ◎ 「関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川400年」 徳川家広
2018 12p (D. 2690地区大会記念誌)
- ◎ 「東海道新幹線とリニア中央新幹線」 葛西敬之 2016 8p
(D. 2760地区大会記録誌)
- ◎ 「『無言館』のことー戦没画学生が伝えるもの」 窪島誠一郎 2018 12p
(D. 2590地区大会の記録)
- ◎ 「サービスの極意」 田崎真也 [2018] 24p
(D. 2530地区大会記念誌)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日